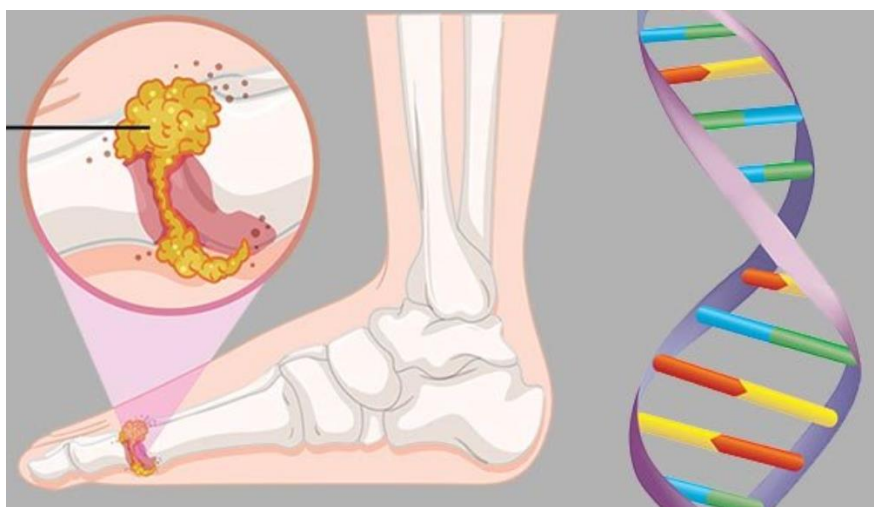


腎保護目的での尿酸降下薬投与 を初めて推奨

日本痛風・核酸代謝学会は、『高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版（2019年改訂）』を刊行。今回の改訂では腎障害を有する患者さんに対して、腎保護を目的に尿酸降下薬を投与することを「条件つきで推奨する」指針を示しました。



日本の痛風患者は急増し 100 万人時代に突入したが、高尿酸血症は痛風だけでなく、脳・心・血管病の原因あるいは促進因子であることを強調し、無症候性高尿酸血症を放置しないよう呼びかけています。

